

水深12m岸壁2バース目の岸壁供用による港の利便性向上

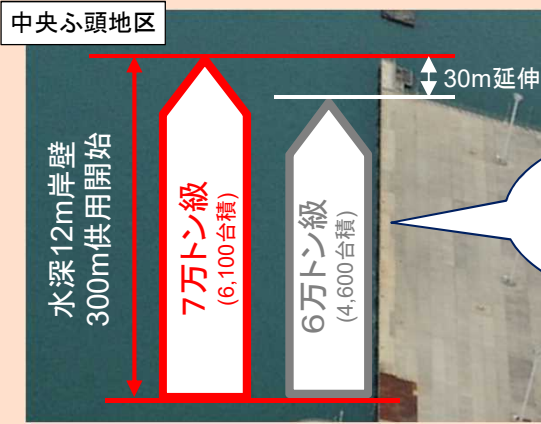
— 茨城港常陸那珂港区 —

- ・ 茨城港常陸那珂港区では建設機械や完成自動車等を取扱っており、取扱貨物量は年々増加しています。
- ・ このような中で、更なる需要の増加に対応するための港湾施設整備を進めており、2023年2月には中央ふ頭地区において水深12m岸壁2バース目が計画延長300mで供用を開始しました。
- ・ これによって、7万トン級の大型船舶の着岸が可能となったことや、大型船の2隻同時着岸が可能となるなど取扱能力が拡大し、物流の効率化（輸送コスト削減）や生産性の向上が期待されます。



高速道路に直結してるため、物流の効率UP! & CO₂排出量縮減!

水深12m岸壁が延長300mで供用を開始し、近年の船舶大型化に対応。
7万トン級RORO船*1等の着岸が可能に!



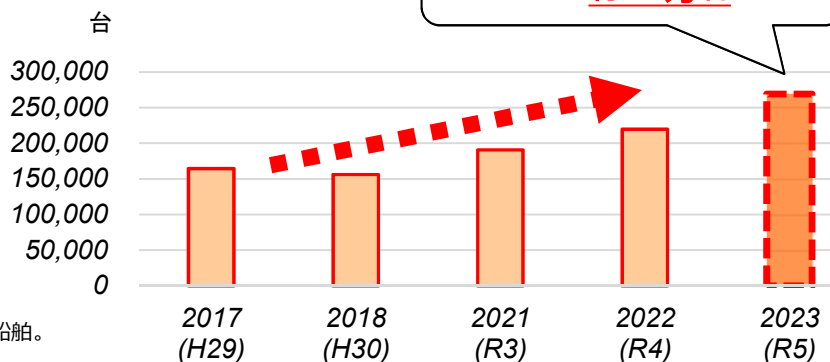
積載容量*2
6万トン級 約4,600台 → 約**6,100**台



大型船2隻同時着岸可能
⇒取扱能力UP!



◆完成自動車の輸出台数



順調に推移しており、過去最高の約**27万台**見込み

*1 「RORO船」 roll on roll off ship
貨物をトラックなどで積み卸すために、船尾や船側にゲートがある船舶。
*2 積載容量は平均船型の数値。